

● 第8章 海外救援金を財源とする事業 ●

## 熊本地震からの気付きと今後に向けて

### 現地におけるニーズ調査に基づく事業展開

海外救援金を財源とする事業は、その財源額、災害の規模や季節等により内容面で変化するものである。

今回の熊本地震においては、発災2週間後には、現地におけるニーズ調査が行われ、「健康支援事業」と「物資支援事業」に特化された。

本事業については、一定程度の評価をされたものと確信する。

## CHAPTER 9

### 第9章

#### 日本赤十字社の

#### 救援物資





# 県内地区区分及び被災自治体との連携

## 県内地区区分の定義

日本赤十字社の定款では、都道府県の区域に支部を置き、その下部機関として市町村の区域に地区区分を置き、政令指定都市には地区本部を置く規定となっている。また、支部長(知事)の推薦のもと、都道府県内の市町村長または政令指定都市の区長が日本赤十字社の地区長、分区長に就任し、会員や寄付金募集の事務を行い、赤十字の業務の一翼を担っている。これは、日本赤十字社の自主性を重んじ、公私分離の原則の尊重を求める一方で、日本赤十字社の業務が、国または地方公共団体が行う業務と極めて密接な関係を持っているため、国や県に対しても、日本赤十字社との連絡を密にし、適正円滑な業務の運営が図れるよう求めた結果である。

最近では、赤十字の事業が地域住民に密着した活動であることから、各地域の社会福祉協議会が、市町村に代わって日本赤十字社の業務を行っているところが増えている。

これら地区区分の窓口を通して地域住民の方々から寄せられた寄付金は、日赤の災害救護活動の資金となっており、救援物資の購入にも活用されている。

### ■熊本では、以下の通り45の地区区分がある。

熊本市	宇土市	長洲町	御船町	あさぎり町
八代市	上天草市	大津町	嘉島町	多良木町
人吉市	宇城市	菊陽町	益城町	湯前町
荒尾市	阿蘇市	南小国町	甲佐町	水上村
水俣市	合志市	小国町	山都町	相良村
玉名市	美里町	産山村	氷川町	五木村
天草市	玉東町	高森町	芦北町	山江村
山鹿市	和水町	南阿蘇村	津奈木町	球磨村
菊池市	南関町	西原村	錦町	苓北町



### ■救援物資の配分基準

#### 1. 居住家屋の全焼、全壊、流失の場合

項目	毛布	緊急セット	タオルケット	下着セット(男性用)	下着セット(女性用)	タオル	ビニールシート
単身世帯	1枚	1個	1枚	1組	1組	5枚	1枚
2~4人	人数分	1個	人数分	人数分	人数分	5枚×人数	//
5~8人	//	2個	//	//	//	//	//
9人以上	//	3個	//	//	//	//	//

#### 2. 居住家屋の半焼、半壊、床上浸水の場合

項目	緊急セット	タオルケット	下着セット(男性用)	下着セット(女性用)	タオル	ビニールシート
単身世帯	1個	1枚	1組	1組	5枚	1枚
2~4人	//	人数分	人数分	人数分	5枚×人数	//
5~8人	2個	//	//	//	//	//
9人以上	3個	//	//	//	//	//

#### 【救援物資内容】

毛布	緊急セット	タオルケット	下着セット(男性用)	下着セット(女性用)	タオル	ビニールシート
10枚1箱	6個1箱	10枚1箱	20組1箱	20組1箱	200枚1箱	10枚1箱

### ■支部から地区区分に配分した数(地区区分から被災者に配布した数とは異なる)

地区区分	安眠セット(セット)	毛布(枚)	ビニールシート(枚)	緊急セット(セット)	下着セット男(組)	下着セット女(組)	タオルケット(枚)	タオル(枚)
益城町	3,042	10,870	697	250	60	60	2,154	3,850
熊本市	1,738	3,530	100	12	160	400	50	600
御船町	1,421	800	1,400	678	90	90	520	1,600
嘉島町	100	100	0	110	0	0	420	1,500
甲佐町	0	30	110	18	20	20	240	200
南阿蘇村	0	620	50	0	25	0	0	2,200
西原村	0	0	600	0	0	0	600	0
菊池市	0	2,150	100	0	0	0	0	1,000
菊陽町	0	600	1,180	0	0	0	100	1,000
合志市	0	10	20	0	0	0	310	0
大津町	0	400	500	0	0	0	0	0
南小国町	12	50	20	18	40	40	20	200
小国町	12	20	0	30	0	0	10	200
産山村	0	100	30	0	0	0	0	0
山都町	0	0	200	0	0	0	0	0
宇土市	240	510	50	0	0	0	10	200
宇城市	0	0	60	102	100	40	0	600
多良木町	0	10	10	6	0	0	0	0
芦北町	0	80	0	0	0	0	0	0
合計	6,565	19,880	5,127	1,224	495	650	4,434	13,150



# 救援物資の配布活動

## 日赤の救援物資の概要

日本赤十字社では、各種災害の被災者に対する救援活動を迅速かつ円滑に行うため、平時から各種の救援物資を、各都道府県支部及び各地区区分(社会福祉協議会等)に備蓄しており、「日赤災害救援物資配分基準」に定める配分基準に基づき被災者に配布している。

今回の地震における救援物資については、熊本県支部の在庫だけでは圧倒的に不足したため、本社をはじめ全国の都道府県支部から救援物資を熊本に輸送、全日赤を挙げて被災者への救援物資配布に当たった。



## 避難地域、避難所への配布活動の状況

今回の地震において、熊本県支部災害対策本部では、発災後直ちに県内地区区分へ連絡し被害状況を確認するとともに、救援物資の過不足の調査を行った。特に、被害が甚大であった地区区分や自治体には直接足を運んで不足物品等の聞き取りを行い、再度物資を搬送した。

被災地での活動に向かう救護班も、現地のニーズに直ちに応えられるよう、ある程度の救援物資を積み込んで出動した。また、熊本県支部に要請があったものについては、即日輸送を前提とし迅速な配送に努めた。

大規模輸送の場合は、自治体や地区区分だけでなく、避難所

の運営管理者との調整も必要であったため、日時を打合せしたうえでの搬入となった。特に、被害が大きかった益城町の総合体育館へ毛布2,000枚、安眠セット1,200セット、タオル2,000枚を運んだ際には、大型トラック1台、中型トラック2台に積載し、熊本県支部職員や本部支援要員、防災ボランティア、消防学校の生徒などと協力し搬入した。また、配布時には、現地のボランティア等にも協力をいただいた。

地区区分や被災自治体との平時からの連携に加え、混乱した初動時に密に連絡を取ったことで、被災地の需要に応える払い出しができたものと思われる。

## ■他県からの受入物資一覧

受入元	品名	整備元	数量
愛知	安眠	オート	255
愛知	安眠	オート	395
愛知	安眠	本社	200
愛知	タオルケット	愛知	1,000
茨城	ブルーシート	茨城	700
茨城	毛布	競輪	500
愛媛	毛布	オート	190
愛媛	毛布	ケイリン	810
大分	緊急	本社	504
大分	タオルケット	大分	160
大分	毛布	ケイリン	500
大阪	緊急	本社	150
大阪	毛布	ケイリン	3,000
岡山	安眠	オート	100
岡山	安眠	本社	120
岡山	毛布	ケイリン	3,000
香川	安眠	オート	100
香川	安眠	本社	900
鹿児島	タオルケット	鹿児島	500
鹿児島	タオルケット	鹿児島	140
鹿児島	タオルケット	鹿児島	60
鹿児島	毛布	ケイリン	900
鹿児島	毛布	本社	100
神奈川	ブルーシート	神奈川	800
佐賀	安眠	オート	50
佐賀	毛布	ケイリン	580
東京	ブルーシート	東京	1,000
徳島	タオルケット	徳島	504
徳島	毛布	本社	1,000
長野	安眠	オート	202
長野	安眠	オート	2,150
広島	安眠	オート	257
広島	安眠	本社	372
広島	毛布	競輪	408
広島	毛布	競輪	1,310
広島	毛布	本社	282
福岡	安眠	オート	700
福岡	安眠	オート	450
福岡	タオルケット	福岡	25
福岡	タオルケット	福岡	315
福岡	ブルーシート	福岡	200
福岡	毛布	ケイリン	2,000
福岡	毛布	ケイリン	1,870
福岡	毛布	福岡	530
本社	ブルーシート	本社	2,000
宮崎	タオルケット	宮崎	915
宮崎	タオルケット	宮崎	85
宮崎	タオルケット	宮崎	200
宮崎	ブルーシート	宮崎	1,189
宮崎	ブルーシート	宮崎	1,500
宮崎	ブルーシート	宮崎	311
宮崎	毛布	ケイリン	492
宮崎	毛布	本社	508
山口	毛布	ケイリン	80
山口	毛布	ケイリン	110
山口	毛布	山口	300
山口	毛布	ケイリン	420
山口	毛布	ケイリン	90

## ■民間企業等からの提供品一覧

品名	数量	提供元
ラップボン	387台	日本セイフティー(株)
非常用トイレ	9箱	東レ(株)
トイレ用袋	21箱	東レ(株)
電子血圧計	150台	テルモ(株)
電子体温計	500台	テルモ(株)
濃厚流動食「テルミール」	1,680個	テルモ(株)
服薬補助用ゼリー	3,000個	(株)モリモト医薬
弾性ストッキング	2,400枚	
閉鎖式輸液セット(点滴用チューブ)	4,800個	テルモ(株)
医療用グローブ		
口腔ケアスポンジ		
手指消毒剤	2,400個	テルモ(株)
救急絆創膏	2,000枚	テルモ(株)
メディカルティッシュ		日本赤十字社北海道支部
環境表面ウェットシート		
MILTON	20本	
粉ミルク(缶・スティック)		
哺乳瓶		
おむつ(大人用・新生児用等)		
トイレトペーパー		
ポケットティッシュ	1箱	(株)ハレクラン
生理用品		
お泊りセット(シャンプー、歯ブラシ等)		
コンタクトケース		
軍手		東レ(株)
水500ml	300本	ミドリ安全熊本(株)
飲料水		熊本医療ガス(株)
カップラーメン		ミドリ安全熊本(株)

民間企業等から、様々な支援物資の提供を受けた。なお、すべての記録(品名・数量・提供元)は残っていないため、参考としてその一部を掲載している。







熊本県支部倉庫前での作業



熊本県支部倉庫内での作業



益城町の津森公民館



御船町ふれあい広場のテント村



熊本県赤十字血液センター車庫内での作業



熊本県赤十字血液センター車庫内での作業



益城町の広安慈愛園



西原村民体育館



熊本県赤十字血液センター車庫内での作業



熊本県赤十字血液センター車庫内での作業



益城町のグランメッセ熊本



益城町の広安小学校